

# 義肢装具体験イベント 開催報告書

vol.03  
2017.12

## 第3回 『義肢装具体験イベント』

第3回となる「義肢装具体験イベント」を、平成29年11月11日(土)に東京都中野区立南中野中学校にて開催いたしました。

当日は、学校公開の場を利用して1時間目～4時間目までの時間割で、

- ①「義肢・装具の装着体験」
- ②「義足ユーザーとの交流」
- ③「障がいのある方々と義肢装具士の関わり(講義)」

の3つのプログラムを、中学校1年生～3年生の生徒とその保護者、教職員を対象に実施いたしました。



### 主なプログラム

各学年約100名、総勢約300名の生徒達に、(公社)日本義肢装具士協会障がい者/パラアスリート/PO啓もうWGと東日本支部から、25名がスタッフとして対応しました。それぞれのプログラムについて解説いたします。

### 講義「障がいのある方々と義肢装具士の関わり」

「障がい者・パラアスリート」と、その方々を支援する義肢装具士の職業について、理解を深めてもらう事を目的に講義をしました。また、講義に続いて代表の生徒をモデルに短下肢装具の採型デモンストレーションを実施しました。

ほとんどの生徒が初めて見る採型作業に興味津々に見入っていました。質疑応答では義肢装具や義肢装具士に関する沢山の質問があり、活発な意見交換が行われました。



<講義後の質疑応答場面>



<生徒への採型デモンストレーション>



## 義肢・装具装着体験

体験用装具や模擬義足等を装着し、「障がい者・高齢者の動作」や「切断者の義足歩行」を体験してもらう事で、「障がい者・高齢者」の身体的負担を体感することで、その理解とボランティアマインドの育成を目的としました。

高齢者・片麻痺者の疑似体験用装具を装着して畳から立ち上がったたり、模擬義足を装着して生徒同士で支えあって歩いたり、多くの生徒達は初めての体験に驚きと身体的負担の大変さを感じていました。



<模擬義足での歩行体験>



<高齢者の動作体験>

## 義足ユーザー交流

下腿義足、大腿義足のユーザーそれぞれ1名の方々に協力して頂きました。ユーザーと交流することにより、実際に会う事や言葉を交わす事で「障がい者」理解を深めてもらう事を目的としました。ユーザーとの質疑応答では、生徒からは日常生活に関する疑問点や、義足で不自由な事について等の質問が挙がりました。その後、体育館の一角で野球やバドミントンのパフォーマンスを生徒達と一緒にやり、交流を深めました。

生徒はユーザーのパフォーマンスを目の当たりにして、想像を超える活動度に認識を一変したようで、義足が見えなければ切断者と分からないと感想を述べていました。



<義足ユーザーとの質疑応答場面>



<生徒とバドミントンのラリー>

## 総括

この「義肢装具体験イベント」開催後に、生徒達に実施したアンケート結果では、全体の約95%が体験イベントへの参加に満足しているとの回答を得ました。また、プログラムの中では実際に体感出来る事からか、「義肢・装具の装着体験」に最も興味を持っていただいたようです。

パラリンピックへのボランティアスタッフの参加に関しては、全体では約50%が参加したいとの回答でしたが、3年生になるとより現実的に受け止められるのか、約65%が参加意思を示していました。

今回で「義肢装具体験イベント」の開催は3回目となりましたが、多感な年代に「障がい者・パラアスリート」、その方々を支援する義肢装具士の業務を伝える事は、「障がい者理解」や「ボランティアマインドの育成」、「義肢装具士の理解と職業選択」に通じる非常に大切な啓発活動であると考えます。

当協会では、これからも積極的に公益目的事業に取り組んで参ります。

## アンケート(生徒の記述感想)

- ・ 障がいがあってもスポーツができていたのにびっくりしました。今回の機会で、パラリンピックにも興味を持ちました。
- ・ オリンピックで沢山人々が来たとき、もし障がいのある人を見かけたら、ぜひ助けてあげたいです。
- ・ 義肢装具士になるためには、資格が必要なんだと知った。
- ・ 私は義肢装具士さんのように、何か人のためになれる仕事について、沢山人の気持ちを考えられる人になりたいです。
- ・ 義手や義足で足りない部分を補って一生懸命に生きている姿は、カッコいいと思いました。
- ・ 今回の義肢装具体験で、障がいのある人への接し方が変わりました。障がいがあるからと特別な対応をするのではなく、普通の対応をすれば良いのだと思いました。
- ・ 自分には何も障害が無いのは、実はすばらしい事なんだと分かった。でも日常でそんなこと考えた事がなかったので、体験してみてこんなに大変なんだと知った。思えばまだビルには階段が多いし、スロープなんて珍しい時代だから、社会がもっと変わったらいいと思う。すべての人に平等な社会になって欲しい。